

第3回日経セキュリティ会議 万引犯罪防止から見る店舗の セキュリティ対策

平成19年3月9日
於 東京ビックサイト

NPO法人全国万引犯罪防止機構 理事 事務局長
福井 昂

NPO法人全国万引犯罪防止機構

平成17年6月23日設立 翌年1月23日NPO法人全国万引犯罪防止機構として登記完了。日本の治安が崩れている今、犯罪の根っこにある「万引犯罪」撲滅のために、全国の各組織を結ぶ横糸の役割を狙い、情報を一元化して再度各組織に情報の発信を行うセンターとして、かつ、全国の声や悩みを一つにまとめて、大きな声として建議提言を行う。



1. 万引犯罪

① 警察庁の認知件数推移

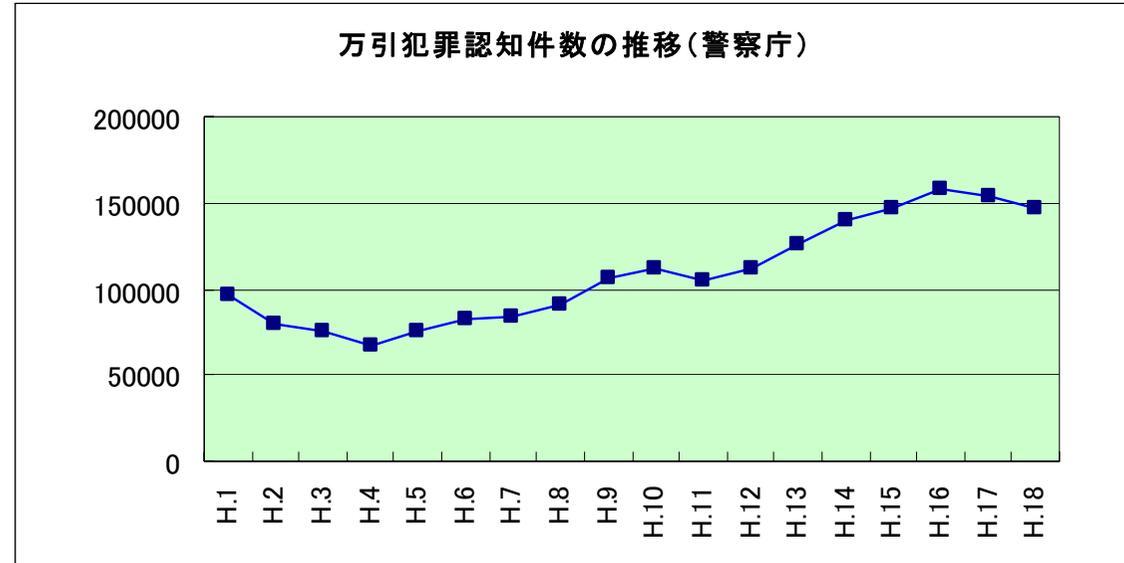
平成18年5月25日施行

刑法235条

10年以下の懲役もしくは
50万円以下の罰金となった。

2年連続減少したが

大量・集団・外国人・高齢者・換金



② 万引犯罪とは

- * 一般認識“たかが万引”? ⇨ 犯罪の根っこ
- * 青少年の健全育成を阻害 ⇨ 大きな社会問題
- * 小売店の経営を阻害 ⇨ とんでもない経済問題
- * 各地区・各業界等縦割り ⇨ 社会全体での対峙
- * 日本社会の縮図 ⇨ 大人社会の在り方

2. 全国調査

平成18年万防機構調査

① 「万引に関する全国青少年意識調査」

対象：47都道府県各1校(小学5年50人、中学2年100人、高校2年100人)

回収：小学：46校・2461人、中学：44校・4502人、高校：41校4290人

合計：131校(92.9%)・11,433人

② 「全国万引実態調査」

対象：日本経済新聞社編「日経小売・卸売企業年鑑」を調査台帳とし、掲載企業のうち主として「セルフ販売」を採用する企業の本部を調査対象とした。

回収：発送総数896社 宛先不明・対象外判明・回答拒否26社

有効発送数870社、有効回収412社(47.4%)

3. 社会の縮図

- ① 青少年 : 大人の鏡
- ② 外国人 : 日本の人口減・国民的合意
- ③ 高齢者 : 急激な高齢化社会・青少年の見本になろう
- ④ 換金 : 中古ショップの増加 ・インターネットオークション
- ⑤ 社会構造:
 - * 縦社会……横社会
 - * 価値観……自分中心 ・社会のルール ・ <見つからなければ>
 - * 権力者? ……報道関係 <子供が見ている>

4. 万引防止システム

① EAS機器 ……日本EAS機器協議会

Electronic Article Surveillance

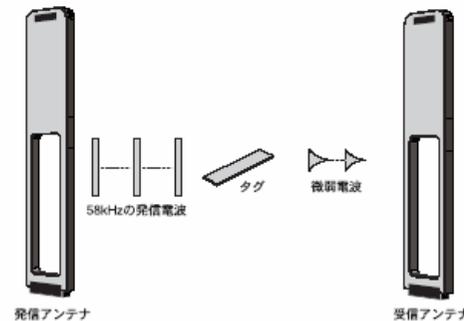
* 導入状況…約8万台強

* 日本では、約30年前から、導入を開始

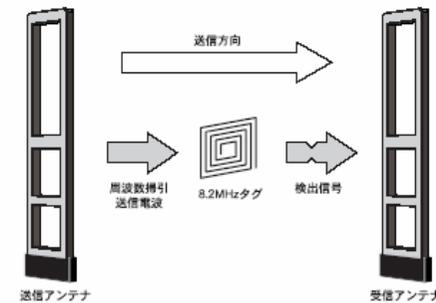
当初は「万引をされるぐらいの店でないと」「お客様を疑うより盗られる方がまし」、その後、自社の経営問題、社会の要請によりここ数年で、急速に導入が進んできた

* システム

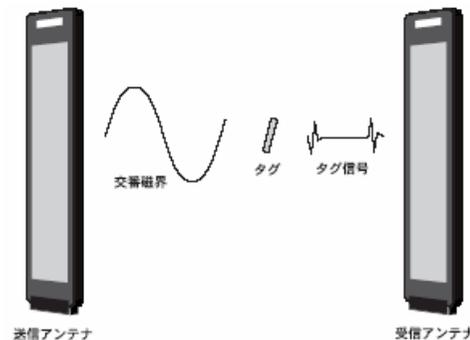
• 音響磁気式



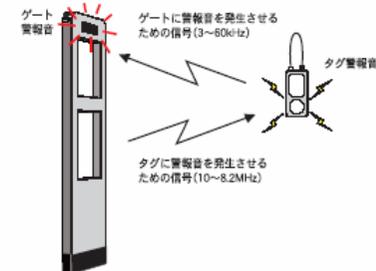
• 電波式



• 磁気方式



• 自鳴式



* その他

・インク式タグ

・ケーブル式タグ

* 導入の効果と最近の課題

・ EAS機器導入⇒抑止・販売に専念・**機器導入によるお店の強い意志**
ロス低減・青少年の健全な育成

・ タグ付けに時間がかかる ⇒・ソースターキングを拡大できないか
・機種統合

・ 自信を持って声掛け⇒誤報のないシステム
電波環境の整備

・ 店だけでは限界⇒**地域力**

・ 集団・外国人・高齢者等⇒ **社会全体での対峙**

・ 医用機器等との相互干渉⇒EASステッカー



② 監視カメラシステム

- * 録画はテープからHDD方式に主流
- * 犯罪の防止には適切な画角による撮影必要
- * 動体検知機能など防犯カメラの映像を利用した用途の増加
- * 今後も防犯カメラの設置台数は増加
- * 要注意！！

万引防止は「**店の財産を守る**」目的であり、その目的以外は使用しない。管理規定を明確にし、厳格に運用し、さらにこの規定を開示すべきです

③ RFIDの動向

- ・経済産業省：電子タグを活用した流通・物流の効率化実証実験
業界：家電・出版・コンビニ・総合スーパー・百貨店・アパレル
実験：平成19年1月～2月

この実験結果を注目している。

一部の業界ではプライバシー保護政策についても実験が実施される。

- ・一般的に電子タグを活用するからには、万引防止も当然できるように考えられているようですが、現実には、読取率・感知距離・プライバシー等の問題があり、万引防止には使えないのが現状です。
その意味でも、上記実験の結果が待たれます。

5. 社会全体での対峙

① 万引をさせない店舗づくり

* **小売業の社会的責任** = 自分のお店からは絶対万引犯罪は起こさせない
地域社会の安全を守るために中心になって活動

企業倫理 = **社長の明確な方針のもと、強い信念と地道な努力が求められる**

* **地域力** = 小売店・学校・PTA・町内会・役所等々の連携による。「おはようございます」
「こんにちは」「今晚は」「元気ですか」等の声が飛び交う元気な街造り

* 防犯ポスターの掲示・死角・隙間・溜まり場を作らない

* **防犯機器を導入する ⇔ 導入を機に社内の防犯体制の構築を図る**

② 万引一掃の教育・キャンペーンの強化

* 学校・PTAは非行防止教室等で万引について徹底して教える
⇒ 教育用パワーポイント・教育用ビデオ等

* キャンペーン等を活用し、万引防止について徹底的に啓蒙する
⇒ 全国共通ポスター・POP 等

③ 万引発見の徹底

* 小売店・商店街は、万引きと疑わしき不振な行動をとる者に、声掛けや注意を実施し、万引の機会を未然に防ぐ

④ 万引を繰り返さない仕組みづくり

小売店は、**青少年**の万引を発見した場合は、警察・保護者に連絡する。学校が判明した場合は学校に連絡する。小売店・警察・学校・保護者が連携し、それぞれの役割を果たす

大人の場合は、法律に従う＝刑法235条：窃盗罪は10年以下の懲役もしくは50万円以下の罰金

<警察への通報ルール・処理ルールの標準化が求められる>

⑤ 万引物品の販売防止

古物商は、万引品と疑わしき物を買取らない店であることを明示する。各行政の条例等を順守し、18歳未満の者から古物を買取る時は、保護者の同伴または同意確認を徹底する。

<古物の買取での、1万円ルールの見直しの要望が出ている>

⑥ 関連機器の開発

タグを含めたEAS機器システムの信頼性UP、更に、カメラシステム・来客カウンター・POSシステム・携帯電話等々を組み合わせた、その店に合ったシステムの構築と機種統合等が考えられる。

地域のアラートシステム等の構築が急がれる。

⑦ その他

ピック病・現状の把握(罰金刑の適用状況・再犯率・万引品の再販率等)……

6. 万引犯罪は**軽い犯罪ではない**！

- ① **たかが万引では無い。**
- ② 万引犯罪が**犯罪の根っこ**にある。
- ③ 万引犯罪撲滅ができれば、安全・安心な日本を取り戻せる。**対処療法ではなく、本手を打つこと**が重要である。
- ④ 各地域が**地域力**を高め、犯罪のない地域を造るところこそ最優先課題である。
- ⑤ そのためにこそ**日本の技術力**が貢献できる。

見直したいね「声かけ」の力

山口県の17歳女子高校生の声(朝日新聞H18. 12. 21)

青少年の自殺や犯罪が目立つ中、「声かけ」の重要性が見直されている。自殺を考えていた少女が近所の人からあいさつをされて我に返り、自殺を踏みとどまったことがあったらしい。私の周りでも声をかけてくれる人たちがいる。毎朝登校中にあいさつをしてくれる人や「勉強を頑張れ」とお菓子くれた人、経験を語りアドバイスしてくれた人もいる。知らない人なので初めは身構えたり、怪しいと感じたりするかも知れない。

しかし、話を聞くことで視野が広がるし、笑顔で声をかけられると、がんばろうと思え、うれしい気になる。「声かけ」は犯罪や自殺防止だけでなく、人とのかかわりをふやし、喜ばせる力もあると思う。人とのかかわりで得ることは少なくない。それを無視するのではなく、時には自分から「声かけ」をする努力をしたいと思います。

以上 ありがとうございます。